

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩スポーツセンター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	株式会社多摩オールフラッツ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成22年12月1日～平成33年3月31日	所管課	多摩区役所 地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	31,025	42,044	37,480	38,342	42,649	36,451	39,494	37,313	26,166	29,848	31,338	37,543	429,693
収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費	123,649	137,769	14,120								
		利用料金収入	65,900	73,660	7,760								
		事業収入	47,500	70,498	22,998								
		雑収入	7,697	10,610	2,913								
		収入計	244,746	292,537	47,791								
	支出	管理運営費	171,107	191,660	20,553								
		光熱水費	46,300	49,732	3,432								
		保険料	923	1,019	96								
		その他	10,000	13,912	3,912								
		支出計	228,330	256,323	27,993								
収支差額	16,416	36,214	19,798										
サービス向上の取組	<p>◇利用者の意見要望を取り入れ、メインエントランスのシューズボックスを増設し、来館者の増加に対応した。またプール更衣室に新たな安全性の高いヒーターの設置や館内全てのトイレにシューズのまま履けるスリッパを設置するなど、施設の利便性や利用環境・衛生環境の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇利用者が使用するスポーツ備品などの施設内備品について、日常点検を強化し、老朽化したものや故障品などをいち早く発見し、修理及び交換作業を迅速に行っていることから、常に良好な施設環境を提供している。</p> <p>◇テニスコートのナイター利用での時間点灯や野球場での天候によるグラウンドコンディション不良の場合の無料キャンセルなど、臨機応変に利用者要望に対応している。</p> <p>◇繰り返し使用できるチャージカード(1,000円)と10回分の料金で11回利用できる回数券を設定し、現金での購入の不便さを解消している取組を行っており、回数券での施設利用者が前年比123%となっていることから、リピーターの定着に繋がっている。</p> <p>◇安全・安心な施設を常に利用者へ提供するため、従業員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、また急病人等の対応としての救命講習会の受講を定期的実施し、不測の事態に備えている。</p> <p>◇自由提案事業として巡回バスを運行(小田急線生田駅・JR南武線中野島駅の2ルート)、平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前を加えるなどの変更を行い、継続して利用者の利便性向上を図っている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)	<p>◇基本方針に基づき、快適な利用環境と公平、平等な利用を確保しながら、市民サービスの向上に努めているとともに、事業計画に基づいた施設の運営がなされている。</p> <p>◇維持管理・運営業務について、セルフモニタリングを実施し、自己評価を行うことで業務の品質維持と向上に努めている。</p> <p>◇利用者アンケート・ご意見箱の設置等を実施して、利用者からの意見・要望を事業へ反映できるよう努めている。</p> <p>◇利用者数が429,693人(前年比123%)となり、開館から順調に利用者数が増加していることから、これまでの様々な取組の成果と評価できる。</p>			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3	
	(評価の理由)	<p>◇利用券の現金購入の不便さを解消するためのチャージカードや1回分お得な回数券の設定により、利用者の利便性及びサービス向上の取り組みを行っている。</p> <p>◇平成26年度の利用者数は前年度に比べ81,088人増加し、約23%の増加率となっており、利用者アンケートや回数券利用者の増加等によりピーターの数も増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。</p> <p>◇従業員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、接遇研修の受講を定期的実施し、従業員の資質及び技能向上に努めている。</p>			

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由) ◇「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会での検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(12種目)等、円滑な事業の実施に多大な貢献をしたことは高く評価できる。 ◇スポーツ教室事業については、幼児から高齢者、障がい者などを対象にした幅広い教室の企画がされていること、人気教室の増設や利用者ニーズに応える内容を提供していることで、教室受講者が増えていることは評価できる。 ◇スポーツ教室事業受講者数においては、平成25年度の6万2千人の受講者に対して、平成26年度は延べ6万8千人の受講者があり、約6千人の利用者増であった。 ◇小田急線生田駅とJR南武線中野島駅・京王線稲田堤駅を結ぶ2ルートの巡回バスを運行している。平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前をルートに加えるなどの変更を行い、継続して利用者の利便性向上を図っている。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) ◇適正に執行していると認められる。				

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今回の事業評価は5年次目の評価となるが、平成22年度は屋外施設のみでの運営であり、屋内施設を含めた運営は平成23年度からとなっている。

- 施設の運営に関しては、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすように努めていると評価する。
- 特に平成26年度の利用者数は平成25年度に比べ81,088人増加し、約23%の増加率となっており、利用者アンケートや回数券利用者の増加等によりリピーターの数も増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。
- ・地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、スポーツ教室事業については、幼児から高齢者、障がい者などを対象にした幅広い教室の企画がされていること、人気教室の増設や利用者ニーズに応える内容を提供しているなど積極的な事業展開を図っており、教室受講者の増加に繋がっている。
 - ・「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会での検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(12種目)等、円滑な事業の実施に多大な貢献をした。
 - ・従業員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、接遇研修の受講を定期的に行い、従業員の資質及び技能向上に努めている。
 - ・自由提案事業として、開館以降巡回バスを運行しており、継続して利便性やサービスの向上を図り、利用者に配慮した施設運営に努めている。
 - ・近隣小中学校の水泳授業に施設を提供し、学校と連携して施設の有効活用を図るなど、地域との連携にも努めている。
 - ・温水プールの水抜き清掃に合わせて、着衣泳の体験と救助講習会を実施するなど施設を活かした研修会等を毎年実施している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

市民の誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、スポーツを通じてのまちづくりと、市民の健康、体力の維持・増進やスポーツ事業の推進、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。

また、公平で平等な利用の確保と経済性にも留意しながら、公共性と効率性の両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営に努めること。

平成27年度は事業期間の中間年を迎えることから、これまで右肩上がりが増えてきた利用者数が、頭打ち又は減少傾向になってくることが想定されるため、リピーターの満足度を高く維持していく取組が求められる。

今後についても利用者のニーズを的確に捉え、常にサービス水準の向上に取り組むことはもちろん、日頃の施設メンテナンスにも重点を置き、施設利用に支障が出ないよう、また利用者の安全を最優先とした施設の運営・維持管理を行うこと。